

## ご挨拶

同窓生の皆様、今晚は！コロナ禍のため2年続けて同窓会懇親会が中止となりましたが、今回、蔓延防止等重点措置の適用などの行動制限がないことから3年ぶりの開催となりました。ただ、新型コロナウイルスの流行第7波が続いておりますので、参加人数を大幅に絞り、基本的感染対策をしたうえで、ワクチン2回以上接種済証のご提示か当日の抗原検査又はPCR検査で陰性の方々だけの入場ということで、皆様には何かとご不便をおかけしました。

困難な状況を乗り越え、開催にこぎつけた当番幹事の48回生と幻の当番幹事となりましたが協力してくれた46,47回生の皆様のご努力に心から感謝申し上げます。

さて、先日、「青森高校100年史」を紐解いておりましたら、同窓会に関連する箇所がございましたのでご紹介します。ご存知のように、明治33年（1900年）9月に青森高校前身の青森県第三中学校の設立認可があり、翌年4月に開校されましたが、同窓会が出来たのは開校から10年たった明治44年（1911年）7月のことでした。しかし、卒業生の多くが県外にいるため休会が続き、7年後の大正6年(1917年)8月に再度、同窓会大会が開催されました。その際、お盆の行事で、県外から帰省する同窓生が多いことから毎年8月開催と決定され100年を超えて今日まで続いているのです。

このたび、伝統の行事である懇親会が復活されたことをご参加の皆様とともに喜びたいと思います。

尚、本席に、松山正弘東京青高同窓会長、小野寺晃彦青森市長、宮下宗一郎むつ市長様はじめ多くのご来賓が出席されておりますが、時間も制限されている関係上、お一人ずつご挨拶をいただけませんことをお詫び申し上げます。

短い時間ですが、旧交を温め3年ぶりの同窓会懇親会を楽しんでいただければ幸いです。

本日は、ご参加頂き誠に有難うございます。

令和4年8月13日  
青森高校同窓会  
会長 沼田 廣